

メモトス

一 現在歸德一帶に在る日本軍第四騎兵旅團劉峙主任地照ノ

指定シ集中セシム且部隊ヲ指定シテ之ケ武装解除ヲ為サシム

二 現在海州及東部瀋海線に在る日本軍第六十五師團轄下之

七十二旅團ハ顧視同主任地照ヲ指定集中セシム且部隊ヲ

定シテ之ケ武装解除ヲ為サシム

三 現在山東省内津浦線上に在る日本軍第四十三軍直轄部隊

第四十七師團第九獨立警備隊第十一獨立警備隊及西

膠濟線に在る第一獨立歩兵旅團及上求關係内ニ在る其他

日本軍部隊ハ既ニ濟南ニ於テ武装解除セルモノヲ除キ其他總

テ列車輸送に依リ直ニ濟南ニ集中スバシ(列車輸送不能者

ハ徒步行軍)

總司令部副長官駐地指定ノ上部隊ヲ指定シテ其ノ武器ヲ接收

セシム

六、現在東部膠濟線ニ在ル日本軍第十二獨立警備隊及第五獨立旅團及右地區内在ル武装解除未了ノ日本軍ハ總テ列車輸送ニ依リ直ニ膠州ニ集中スベシ(列車輸送不能ノモノハ徒歩行軍)

李瀾第八軍軍長駐地ヲ指定ノ上部隊ヲ指定シテ其ノ武器ヲ接收セシム

七、現在河北省内北部津浦線ニ在ル第九獨立旅團及同區内ニ在ル武装解除未了ノ日本軍ハ列車輸送ニ依リ直ニ天津ニ集中スベシ(列車輸送不能ノモノハ徒歩行軍)

第九十四軍軍長牟延芳駐地ヲ指定ノ上部隊ヲ指定シテ其ノ武器ヲ接收セシム

八、現在河北省内保定一帶ニ在ル第七獨立警備隊及同管内武装解除未了ノ日本軍ハ列車輸送ニ依リ既刻北平ニ集中

0577

スベシ(列車輸送不能ノモハ徒步行軍)

李宗仁主任 駐地ヲ指定ノ上部隊ヲ指定シテ其ノ武器ヲ
接收セシム

九、現在河北省内正定一帯ニ在ル第一獨立步兵旅團及定縣一

帯ニ在ル第一獨立旅團並ニ其ノ地帯内ノ武装解除完了ノ日本

軍ハ即刻夫々正定及定縣ニ集中スベシ

第三軍軍長 羅歷抱 駐地ヲ指定ノ上部隊ノ指定シ其ノ武器

ヲ接收セシム

一〇、現在山西省内ニ在ル第一百十四師團及第十白獨立步兵旅團

並ニ山西省 (詳不明) 省内ニ在ル武装解除完了ノ日本軍ハ直ニ

閻長官地點ヲ指定シ且武装解除スベシ

一一、現在臺灣ニ在リ未ダ武装解除ヲ終了スル日本軍ハ即時陳

儀長官ノ指定スル地點ニ集中武装解除スベシ

一 前各項ノ行動(輸送行軍集中武装解除等)ハ必ず迅速ニ
スベク期限遅延マルヲ得ズ

三 一切ノ日軍部隊ニシテ運輸及行軍中匪軍ノ襲撃ニ遭遇セル時ハ
直ニ匪軍ヲ驅逐シ有ユル人馬武器器材彈藥ノ安全ヲ謀リ
集中地ニ到着スベシ

四 一切ノ日本軍 原警備地區ニ於ケル帶行不能ノ倉庫ハ一律ニ封
印シ各受降主官ノ指定部隊ニ看守ヲ引渡シ且倉庫位置、倉
庫内物資ノ種類 數量ヲ帳簿ヲ以テ各受降主官ニ報告シ絶對
ニ匪軍ニ交付又ハ他ノ如何ナルモノニモ讓渡スルヲ許サズ

五 一切ノ日本軍ハ原警備委任ノ警備地點特ニ縣城及大市鎮等
ハ必ず受降主官指定ノ部隊ト警備ヲ交代スベク絶對匪軍ニ引
渡スベカラズ

通覧先 各軍 参考 支復 次官

(終)

1. 上海 毎日 六十人 還送
 右 一月一日ヨリ 五月十五日迄
 2. 塘沽 毎日 三十人 還送
 右 一月一日ヨリ 六月一日迄
 3. 遷州 毎日 四十人 還送
 右 二月十五日ヨリ 四月十五日迄
 4. 海口 (註、三重毛使用、答) 毎日 四十人 還送
 右 四月一日ヨリ 五月一日迄
 5. (註、港不明) 毎日 二十乃至三十人 還送
 右 二月十五日ヨリ 五月一日迄
 6. 海防 (註、ワーラニ使用、答) 毎日 四十人 還送
 右 四月一日ヨリ 十月一日迄
 7. 青島 毎日 三十人 還送
 右 一月一日ヨリ 四月一日迄

0581

九、東北毎日一万二千人 還送

右 五月一日引九月三十日迄

一、南京上海地區、日本將兵及居留民、鐵道ニ依リ上海ニ

輸送シ安慶地區、病兵及居留民、船舶輸送スル、外其他

ハ均シシ蓋湖迄行軍シ爾後汽車ヲ上海ニ輸送、細部、運輸

方、共、最奇、第、三、回、軍、及、一、口、戰、區、ト、打、合、處、理、ス、ベ、シ

二、大通日本官兵、蓋湖へ行軍ハ二月四日迄ニ少發シ二月十日

迄ニ到達スベシ安慶地區ノ日本官兵、蓋湖へ行軍ハ二月六日

迄ニ少發シ二月十八日迄ニ到著スベシ

三、華北地區、武裝解除未了、日本官兵ハ命ニ遵ヒ本月十四日

以前ニ全部武裝ヲ解除スル共ニ武裝完了官兵ハ速カニ平津

地區ニ輸送集中スル、一語不明「スベシ」

六、濟南地區、日僑及居留民ハ速カニ青島集中スベシ

0582

七、華南各地區、前記期日ニ應ズル輸送待機ニ準備ニテスベシ
右七項ハ夫々關係方面ニ命令濟ナリ
遵奉方轉命スベシ

通電先 各軍、海軍、專、天津、青島、連雲
蚌埠、連絡計
參考次官 支復

終

0583

史言の

略虎

第 14 號

特 緊

電報譯

一月二日午前午後二時三十分若三時五分

次

官 宛

發信者 西部復員監部總務部長

文書課
史実部

西復員總電第 53 號

一復電第 162 號返 (史実部部隊名調査件)

電文クズレ電意明瞭ナラザル矣アルモ一九四五年六月

高須國民學校ニリタル部隊名ハ第 86 師團歩兵第

百八十八聯隊 (長石井大佐) 合田大隊ナリ

終

0584

文書
史典部
人事

⑪ 手

略號

至急 電報譯

一月九日

午前午後 一四時五十分發

第 23 號

文書課長宛

發信者

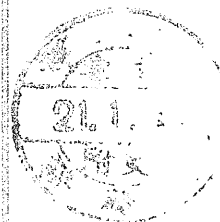
西復監復員監新文書課長

西復監復員第 二七號

杉之尾三夫中佐、現在所ハ福岡縣三國村大保
(大保農場内)

終

陸軍



2

0585

日誌用

略號

緊急電報

症 次官

總覽第三八號

總參一電第一八九號(通註一月十五日配布)ヲ左ノ如ク訂正相成度

左 記

三細部ノ運輸方法ハ最寄リ第三方面軍及第一〇戰區ト打合

處理スベシ

電証、右、總參一電第一八九號中第三頁「二、南京上海地區ノ日本將兵

第一〇戰區ト打合處理スベシ」ヲ如ク訂正スルノ意アリ

昭
二二八、一七三、一、二〇
一九、一三〇、四、一〇
一四、二〇、一〇
一七、二〇、一〇

支那派遣軍總參謀長

(南京)

0586

軍令部	海軍省		氣象	測量	武官府	部附	軍調	參航	陸大	史編	報道	中調	部三	部二	部一	二十班	務總	總								
大東亞	外務省	多研	兵行政	機本	航本	教總	防總	醫事	衛生	建築	衣糧	主計	交通	燃料	戰備	馬政	防衛	兵備	兵務	軍務	軍事	功調	恩賞	補任	官房	秘書

至急電		報		發信者 厚生大臣		一月 一月		一日 一日		提出		著發	
電第		號		號		號		號		號		號	
藤井中佐、豫、連絡、通、當部、殘務、整理、終了		迄、赴、任、延期、呈、之、度		尚、一、月、末、連絡、為、出、頭、也									
富子、長、(同、覽、)													

番號	總務課	主任	電報班
點歸主任者	課	點歸主任者	點檢配布

班長	點檢者	翻譯者	受付
	①	②	③

0587

普覽報
峇號

宛次官

從來、御懇心情ヲ謝ス
旧年未、辛敷カ引継ヲ完了去ル四日著仕セリ

河辺復員監

東海復員監

二、一、
四、一八、五、〇、發
五、一三、〇、〇、著
六、〇九、〇、〇、愛
一三、三〇、〇、真
之

(終)

0588

5

略號

至急電報

昭

一	ニ	ハ
一	四	ニ
一	ワ	ニ
一	ク	ニ
一	ク	ニ
一	ク	ニ

宛

次官

甲部隊参謀長

(北京)

田方参電第七號

満洲主トシテ奉山線沿線ノ状況

昨年十月下旬ヨリ本二月迄中国軍進駐ニ協力セル裝

甲列車隊長、生駒少尉車内ヨリノ見聞

一 蘇軍ハ十月中旬ヨリ逐次撤退シ本二月初奉天(念

マズ)以西ニ駐屯シテアラス 撤退ニ當リテハ糧食物品

等ヲ掠奪シ邦人共ニ彼等ノ行爲ニ對シ憤懣甚シ

モノアリ

二 八路军ハ沿線各地ニ蟠踞シ蘇軍ヨリ関東軍ノ武器ヲ

獲得シ戰意旺盛ニシテ屢々進駐軍ニ對シ積極的ニ攻撃
 シ來リ最近、橫軍ヲ急ギアリテ男ニ五十四、女ニ
 三三歳迄ヲ強制的ニ募集シテ
 尚若干ノ日本軍人加入ニアリテ主トシテ重火器ノ取扱等
 ヲ教授シアル模様
 三那入 山海關 三家族 終中セヨ 錦西一ニヨリハ内軍
 關係ノセヨ 錦縣 三ヨリヨ 阜新 三ヨリ 新民 四ヨ
 承德 三ヨリ(内 男ハ四ノミ) 各地共ニ集團生活ハ未ダ實
 施シテアルモ蘇軍、現地人、八路軍、國軍ト再三ノ掠
 奪 物品ノ強要ニ遭ヒ生計ノ途全クナク衣類 家材
 道具ヲ賣リ或ハ露天商ヲ營ミ辛ウジテ生命ヲ維持
 シアル程度ニシテ寒 餓ヨリテ 錦縣ニ於テハ一日ニ三ヨリノ
 死亡ヲ出シアリ 從ツテ速カナル歸國又ハ華北ヘノ脱出ヲ

熱望アリ一部ニ於テハ自棄的態度及甚ダシキ反逆官
民思想ヲ有スルモノアリ

華北保安司令ハ三月ヨリ之等邦人ニ對シ主食及副食
費ヲ支給ノ旨公示セリ

四、現地人ノ日本人ニ對スル態度ハ逐次好轉ニツツアリ殊ニ
國軍ノ新銳ニ萬國軍協力進駐トノ宣傳(對中共軍自
的)ハ頗ル對日本人態度ヲ改ムルニ至ルモノアリ
又奉山線ハ屢々八路軍ニ妨害セラレツツモ幸ウジテ全通シ
アリ

之等鐵路ノ修理補強ハ旧滿鐵日本人社員及邦人カ
強制的ニ苦役ニ服シアリ

通電先

次官 支總

(終)

0591

電 報

報

昭和二十一年二月八日

二七一一
〇七五四
〇一〇二
〇〇七五
點受發

8

宛 總務課長

中 復員監部總務部長(大阪)

中復總電第三〇號

米軍情報左ノ如シ

- 一、第一軍團司令部ハ一月二十六日京都ニ移駐ス
- 二、名古屋二十五師團司令部ハ大阪ニ其一部ヲ派遣シアリ二十五師團ハ名古屋、大阪、神戸地區ヲ併セテ管轄ストノ情報アリ
- 三、在阪九十八師團ハ二月十五日解散ノ決定ニシテ兵員逐次歸郷中
- 四、在神戸三十三師團ハ近日歸還ヲ終ル

(終)

0592

田中
電
報

至急 秘 電 報	
西電第 四 號	發信者 西部
聯合軍閥係が緊急事態發生セシ付	二月 九日
藤牛中心 即時福岡ニ帰還セシメラレ度	二月 十日
	二月 十一日
	二月 十二日
	二月 十三日
	二月 十四日
	二月 十五日
	二月 十六日
	二月 十七日
	二月 十八日
	二月 十九日
	二月 二十日
	二月 二十一日
	二月 二十二日
	二月 二十三日
	二月 二十四日
	二月 二十五日
	二月 二十六日
	二月 二十七日
	二月 二十八日
	二月 二十九日
	二月 三十日
	三月 一日
	三月 二日
	三月 三日
	三月 四日
	三月 五日
	三月 六日
	三月 七日
	三月 八日
	三月 九日
	三月 十日
	三月 十一日
	三月 十二日
	三月 十三日
	三月 十四日
	三月 十五日
	三月 十六日
	三月 十七日
	三月 十八日
	三月 十九日
	三月 二十日
	三月 二十一日
	三月 二十二日
	三月 二十三日
	三月 二十四日
	三月 二十五日
	三月 二十六日
	三月 二十七日
	三月 二十八日
	三月 二十九日
	三月 三十日
	三月 三十一日
	四月 一日
	四月 二日
	四月 三日
	四月 四日
	四月 五日
	四月 六日
	四月 七日
	四月 八日
	四月 九日
	四月 十日
	四月 十一日
	四月 十二日
	四月 十三日
	四月 十四日
	四月 十五日
	四月 十六日
	四月 十七日
	四月 十八日
	四月 十九日
	四月 二十日
	四月 二十一日
	四月 二十二日
	四月 二十三日
	四月 二十四日
	四月 二十五日
	四月 二十六日
	四月 二十七日
	四月 二十八日
	四月 二十九日
	四月 三十日
	四月 三十一日
	五月 一日
	五月 二日
	五月 三日
	五月 四日
	五月 五日
	五月 六日
	五月 七日
	五月 八日
	五月 九日
	五月 十日
	五月 十一日
	五月 十二日
	五月 十三日
	五月 十四日
	五月 十五日
	五月 十六日
	五月 十七日
	五月 十八日
	五月 十九日
	五月 二十日
	五月 二十一日
	五月 二十二日
	五月 二十三日
	五月 二十四日
	五月 二十五日
	五月 二十六日
	五月 二十七日
	五月 二十八日
	五月 二十九日
	五月 三十日
	五月 三十一日
	六月 一日
	六月 二日
	六月 三日
	六月 四日
	六月 五日
	六月 六日
	六月 七日
	六月 八日
	六月 九日
	六月 十日
	六月 十一日
	六月 十二日
	六月 十三日
	六月 十四日
	六月 十五日
	六月 十六日
	六月 十七日
	六月 十八日
	六月 十九日
	六月 二十日
	六月 二十一日
	六月 二十二日
	六月 二十三日
	六月 二十四日
	六月 二十五日
	六月 二十六日
	六月 二十七日
	六月 二十八日
	六月 二十九日
	六月 三十日
	六月 三十一日
	七月 一日
	七月 二日
	七月 三日
	七月 四日
	七月 五日
	七月 六日
	七月 七日
	七月 八日
	七月 九日
	七月 十日
	七月 十一日
	七月 十二日
	七月 十三日
	七月 十四日
	七月 十五日
	七月 十六日
	七月 十七日
	七月 十八日
	七月 十九日
	七月 二十日
	七月 二十一日
	七月 二十二日
	七月 二十三日
	七月 二十四日
	七月 二十五日
	七月 二十六日
	七月 二十七日
	七月 二十八日
	七月 二十九日
	七月 三十日
	七月 三十一日
	八月 一日
	八月 二日
	八月 三日
	八月 四日
	八月 五日
	八月 六日
	八月 七日
	八月 八日
	八月 九日
	八月 十日
	八月 十一日
	八月 十二日
	八月 十三日
	八月 十四日
	八月 十五日
	八月 十六日
	八月 十七日
	八月 十八日
	八月 十九日
	八月 二十日
	八月 二十一日
	八月 二十二日
	八月 二十三日
	八月 二十四日
	八月 二十五日
	八月 二十六日
	八月 二十七日
	八月 二十八日
	八月 二十九日
	八月 三十日
	八月 三十一日
	九月 一日
	九月 二日
	九月 三日
	九月 四日
	九月 五日
	九月 六日
	九月 七日
	九月 八日
	九月 九日
	九月 十日
	九月 十一日
	九月 十二日
	九月 十三日
	九月 十四日
	九月 十五日
	九月 十六日
	九月 十七日
	九月 十八日
	九月 十九日
	九月 二十日
	九月 二十一日
	九月 二十二日
	九月 二十三日
	九月 二十四日
	九月 二十五日
	九月 二十六日
	九月 二十七日
	九月 二十八日
	九月 二十九日
	九月 三十日
	九月 三十一日
	十月 一日
	十月 二日
	十月 三日
	十月 四日
	十月 五日
	十月 六日
	十月 七日
	十月 八日
	十月 九日
	十月 十日
	十月 十一日
	十月 十二日
	十月 十三日
	十月 十四日
	十月 十五日
	十月 十六日
	十月 十七日
	十月 十八日
	十月 十九日
	十月 二十日
	十月 二十一日
	十月 二十二日
	十月 二十三日
	十月 二十四日
	十月 二十五日
	十月 二十六日
	十月 二十七日
	十月 二十八日
	十月 二十九日
	十月 三十日
	十月 三十一日
	十一月 一日
	十一月 二日
	十一月 三日
	十一月 四日
	十一月 五日
	十一月 六日
	十一月 七日
	十一月 八日
	十一月 九日
	十一月 十日
	十一月 十一日
	十一月 十二日
	十一月 十三日
	十一月 十四日
	十一月 十五日
	十一月 十六日
	十一月 十七日
	十一月 十八日
	十一月 十九日
	十一月 二十日
	十一月 二十一日
	十一月 二十二日
	十一月 二十三日
	十一月 二十四日
	十一月 二十五日
	十一月 二十六日
	十一月 二十七日
	十一月 二十八日
	十一月 二十九日
	十一月 三十日
	十一月 三十一日
	十二月 一日
	十二月 二日
	十二月 三日
	十二月 四日
	十二月 五日
	十二月 六日
	十二月 七日
	十二月 八日
	十二月 九日
	十二月 十日
	十二月 十一日
	十二月 十二日
	十二月 十三日
	十二月 十四日
	十二月 十五日
	十二月 十六日
	十二月 十七日
	十二月 十八日
	十二月 十九日
	十二月 二十日
	十二月 二十一日
	十二月 二十二日
	十二月 二十三日
	十二月 二十四日
	十二月 二十五日
	十二月 二十六日
	十二月 二十七日
	十二月 二十八日
	十二月 二十九日
	十二月 三十日
	十二月 三十一日

番 號	
總 務 課	點 歸 主 任 者
主 任 課	課 點 歸 主 任 者
電 報 班	點 檢 配 布

班 長	
點 檢 者	
翻 譯 者	
受 付	

0593 24

課長



日誌用

略號

至急電報

宛次官

咸參一電第七七九〇號

南方軍總參謀長(西貢)

寺内元帥、總參謀長以下若干ノ幕僚ヲ率ヒ
二月下旬頃 昭南ニ向ヒ前進ニ内定セリ

昭
三六二一〇〇〇〇
九一四三〇〇
一六〇〇〇
一〇〇〇〇
一〇〇〇〇

(封)



0594